



「大人に向かって一歩ずつ」

早いもので75日間(1年生は73日間)の1学期が間もなく終わります。学年が一つ上がり、一人一人がみんな違った成長(変容)を遂げているはずですが、大人が目線で「よかった」と感じる姿もあれば、「困った」「これで大丈夫だろうか」と感じる姿もあったことでしょう。

それでも、子供たちはみんな日々成長。悩みながらも、遠回りしながらも大人に向かって確実に成長しています。

学校生活での出来事でご心配をおかけしたことも多々あると思いますが、ご家庭、地域の皆様の深いご理解とご協力により、教職員一同、一丸となって日々の教育活動に邁進することができましたことに対し心より感謝申し上げます。

保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。



夏休みは心の充電期間に

校内ですれ違うときに、「こんにちは」と明るい声で挨拶したり、笑顔で手を振りながら話しかけてきたりする子がたくさんいます。当たり前のように当たり前ではありません。心にゆとりがあって、元気でなければ、こんなふうにはできません。ですから、そんな子供たちと会うたびに、「ああ、嬉しいな。」としみじみ思います。

ただ、大人も子供も、日常の忙しさの中で、とかく「できないこと」や「気になること」に着目して、いろいろしてトラブルになったり、気持ちが滅入ったりしがちになります。私の場合は、屈託のない子供たちの笑顔やプラスの行動力に、前向きなスイッチを入れてもらっている毎日です。

トラブルを起こしたり、気持ちが不安定になったりした子供たちも、少しの時間、安心できる場所で心を休ませると、かわいらしい笑顔に戻ります。どの子もみんな同様に大切に愛おしい存在です。1学期は、どの子も新しい環境で一生懸命にもがきながら生活してきた、心の充電が切れそうになっているのではないかと思います。

ぜひ夏休みは、自分のペースでゆったり過ごして、**心の充電**をしてほしいと思います。



～ある日の出来事から～

その子は、友達と喧嘩をしてしまい、授業になっても心がざわざわ落ち着かず、校長室へ相談にやってきました。「よく来たね」と迎え入れ、話を聴きました。「調子が悪いときにはまず相談する」。ちゃんとできていますね。その後、しばらくよつばすまいるの部屋で**クールダウン**。

「どのタイミングで教室に戻るかは**自分が決める**。**悩んで悩んで決めればいい**。」

そう伝えると、頭を抱えて「ああ、どうしよう。」と悩み続けて数十分。「やっぱり(次の時間に)戻る!」と決めました。

その後の様子が気になり、教室までこっそり見に行ってみると、悩んでいる間、相手との関係を振り返り整理したことで、喧嘩のもやもやは消えていったのか、喧嘩した相手と楽しそうに活動していました。よつばすまいるの部屋で心静かに自分と向き合うことで、心にゆとりが生まれ、自省の念や相手を許す気持ち、教室に戻ってみんなと楽しく過ごそうというモチベーションにつながったのかもしれない。これも大事な勉強。「仲良きことは美しきかな」です。

自分がどう行動するかを悩んで決断する経験は、今後、その子が仲間とつながって生きていく上で大事な力になると思います。

夏休み明けに、元気な子供たちと会えるのを楽しみにしています。

